

平成 19 年 4 月 26 日 第 3 回 さくらの会

難病病棟恒例の「桜の会」が今年も実施されました。



日本琴の演奏



花笠音頭

残念なことに A コースのちょっと遠出(西藏王の野草園)が雨天の為に中止となりましたが、B コースの院内での桜鑑賞は日本琴の演奏会と山形のおはこである花笠音頭に合わせたのスタッフによる踊りを交え、盛況に終えることができました。



院内から桜の鑑賞



素敵な琴の音色

ところで難病という病気を皆様はご存知でしょうか。運動する身体機能が低下していく為に徐々に自分のことが自分で出来なくなる病気です。現代の医学でも治療法が未確定の為、告知された時から患者様、その家族の苦悩は深刻化していきます。それゆえに患者様の感動はひとしおです。琴の奏でる音色で病室ではみられない生き生きとした表情と笑顔を表出し、手拍子をする光景は医療者側へも感動を与えてくれました。

生きている今を実感し、楽しみを喜びを与えられるように企画の工夫をし、チームでのケアを更に充実していきたいと思います。

(文:副看護部長 佐々木ゆみ子)